

平成29年度 第2回 認知症対応型通所介護運営推進会議録

日 時	平成30年 2月 26日(月) 10:30~12:00	場 所	岩本町ほほえみプラザ 4階会議室1・2
議 長	野田久美子 (印)	書 記	野田久美子 (印)
出席者	委 員:●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏		
	●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏		
	事務局:高橋 誠、小川健太郎、浅野明日香、野田久美子		
議 題	1. 管理者より挨拶		
	2. 事業について(H29年度事業報告(上半期)、第三者評価結果報告)		
	3. 事例報告・活動紹介		
	4. 質疑および評価		
	5. その他		
会 議 内 容	1. 管理者より挨拶(野田) 出席者の自己紹介を行う。		
	2. 事業について(H29年度事業報告(上半期)、第三者評価結果報告)		
	(1) 利用登録者について、昨年度下半期の低迷期と比較してやや上昇傾向にある。		
	(2) 利用登録者9名にアンケート調査票を配布し、4名から回答を得た。		
	3. 事例報告・活動紹介		
	H29年度上半期における新規利用者様のケースにおいて、利用開始→増回→現在のサービス提供状況 について報告を行い、ご利用者とご家族の関係性、支援方法について意見を伺った(別紙詳細参照)。 その他、活動プログラムの紹介を行い、モチベーションを上げる関わり方、役割を担って頂くための取り組み について報告を行った。		
	4. 質疑および評価		
	本日の会議内容について、アンケート調査を行い、ご意見を集約した(別紙報告書参照)。 今後はご利用者自身だけでなく、ご家族の支援にもつながるサービス提供について取り組んでまいります。		
	以上		

3. 事例についてのご意見(詳細)

・事例の方は要介護1だが、サービス開始に当たって通所介護と認知症デイのどちらになるか考えはあるか？

→ ご家族様とケアマネジャーと一緒に協議し、認知症があり個別ケアに特化したサービスが適していると判断した場合は認知デイをお勧めしている。

・認知症の為にデイに拒否がある方に対して、デイの魅力をご本人に伝えることは難しいと思うがすぐに利用につながらないケースは体験利用や誰でもお試しで参加できるような事業所独自のPRがあると良い。(初めの一歩が肝心)

・事例のように男性の介護者が増えてきており、家族構成にも変化が生じてきている。男性の場合、仕事や家事と介護で自分の時間がなくなり、孤独になっている方もいる為、暴言を発してしまうこともある。息子様との関係性について、もっとアドバイスができるが良い。

・報告の中で、「顔や頭部にコブを作ってきた事があった。自宅での転倒が予想される。」とあるが、その後どのようにアプローチしたか？

→ ケアマネジャーに報告を行い、転倒リスクと今後の対応について情報共有を行った。

・デイサービス利用について拒否があり、家族の対応だけでは難しい場合は、送り出しヘルパーなど第三者の協力も得る事も一案だが、今後、認知症が進行して自宅での生活が困難になってくる事を考えてショートステイ利用の検討も提案することもある。自宅の階段昇降が続けられるように、リハビリデイサービス等、機能維持に特化したサービスを考えていくことも大切。

・デイサービスに居場所がある事は良い事。他の利用者やいろいろな人との関わりの中で過ごしてもらえるのはありがたい。

・デイサービスに送り出すのに苦労しているケースはある。介護している人のはけ口を嫁は夫に言えるが、息子は自身の母親についてはけ口がない。24時間一緒にいると、認知症の有無に関わらず大変。デイに行ってもらえるとホッとする(ご利用者の家族や地域住民代表の方からの意見)。

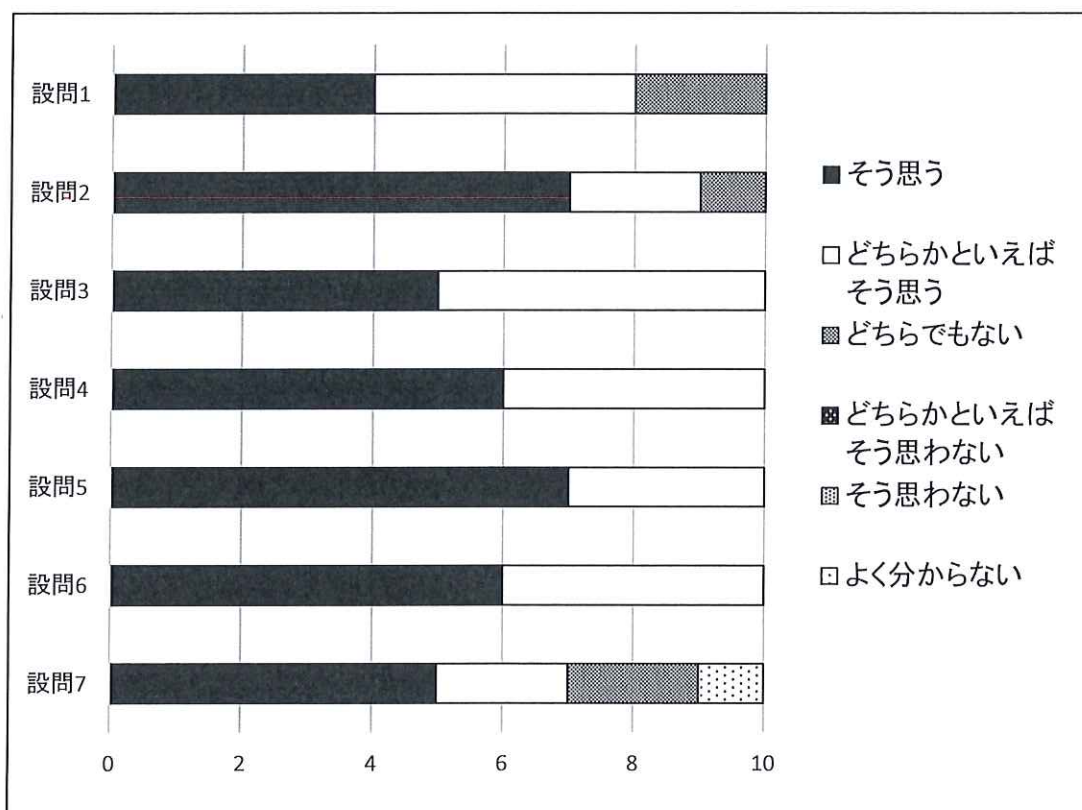
・利用者、家族の立場に立ってサービスを考えてもらえるのは素晴らしい事。

・介護は家族だけでやるものではなくなった。地域にあるサービス事業所は地域の方と一緒にあって、次のサービスに活かされるように地域で連携して支援していくシステムの構築が必要。利用者だけでなく、家族の支援につながる様サービス提供方法を変えていく必要がある。

以上

平成29年度 第2回認知症対応型通所介護事業者評価アンケート 集計結果

- 設問1: 認知症対応型通所介護のサービスを理解していただくための工夫がされている。
- 設問2: サービスに関して情報提供は十分に行われている。
- 設問3: サービスの質を向上するために利用者等の希望を取り入れたサービス提供がされている。
- 設問4: サービスの質を向上するために利用者の心身の状況の変化に応じた、生活を支える支援である。
- 設問5: コンプライアンスを遵守し、かつ利用者の安全に配慮した運営である。
- 設問6: サービス提供に関する課題についての事業所内で情報共有は十分行われている。
- 設問7: 地域住民との交流や地域活動への参加を図っている。



- 設問8: ご意見、ご要望等ございましたらご記入ください。
- ・ 週の大半をデイで過ごす方も多いため、デイの時だけでなく、自宅へ帰っても安心安全に過ごせているか、広い視野で関り続けて貰いたいと思いました。
 - ・ 事例を通して個人への対応が分かり、様々な人の意見が参考になりました。本人が楽しく安全に過ごせる居場所作りは大切だと思いますので、今後も宜しくお願いします。
 - ・ 大変良い機会を与えて頂きました。
 - ・ とても参考になりました。月1回ケアマネジャーさんと打ち合わせはありますが、半年に1度でも良いので、ほほえみさんの方でも面談できれば良いと思いました。